

会議名	第8回千郷地域協議会		公開
日時	令和4年10月26日(水) 午後7時00分～午後7時25分	場所	西部公民館 多目的ホール
出席者	(委員) 今泉昇一、今泉弘、竹下和弘、老平良久、岩倉明、岡山雅仁 杉浦幸雄、今泉雅晴、大森良則、菅野行洋、熊谷明、菅沼基義 竹下秀則、岩田常文、古瀬剛、熊谷三四四、近藤武、高井加奈 柳澤直美、瀧下一美、山本孝弘、牧野勲、伊藤雅明、岡山薫 柴田洋子、浅井知寿子		
	企画部長：西村仁志 市民自治推進課：加藤千明参事、(千郷地域自治区副担当) 近藤由幸 (事務局) 千郷自治振興事務所：笹田明男所長、(担当) 宮本博之		
欠席者	(委員) 神谷実加、山本紀子	傍聴者	なし
配布資料	次第 千郷地域自治区予算事業に関する建議書		

議題・議事・発言等（要点記録）

1 開会及び会長あいさつ

今泉会長によるあいさつの後、本日の会議成立の報告を行った。
会議に先立ち会議録署名者を会長より「柳澤直美」委員、「瀧下一美」委員の2名を指名し両委員ともに承諾がされたため、次第に従い会議に移った。

2 説明

(1) 建議について

市長に対する建議方法について、事務局より説明がなされ、このことについて内容について、意見や質問等の発言も無かったため、次第に従い建議に移った。

3 建議

令和5年度千郷地域自治区予算事業に関する建議

会長により、令和5年度千郷地域自治区予算事業に関する建議書に日付及び署名。
これを地域協議会委員に対し確認していただいた後、市長へ以下のとおり建議が行われた。

(建議内容)

千郷地域協議会は、新城市地域自治区予算事業計画策定要綱に基づき、令和5年度実施に向けた地域自治区予算事業について検討を重ねてまいりました。

その結果、地域計画に沿って3つの主要課題が浮かび上がりました。

1つめは地域の暮らしに関する取り組みです。地域住民の足の確保として、特に高齢者には公共交通の利便性の向上や新たな交通手段の仕組みの構築などが必要とされています。近年の異常気象による降雨などの影響によって、山崩れ等による生活環境への甚大な被害発生が懸念されており、その対策が必要とされています。

さらに、一部のルール等を守らない地域住民によって引き起こされている生活環境の悪化に対する対応や課題解決に向けた取り組みも必要とされています。

2つめは地域の安全安心に関する取り組みです。大規模な災害時への備えや安心して

暮らすことができるようにするために防災・防犯の意識高揚と、そうした地域活動における人材育成や組織づくり、また有事の際における現実的な体制整備や仕組みづくりが必要とされています。

3つめは地域の活性化を図るための取り組みです。地域の拠点整備を進め、地域や学校、さらには各種団体とが連携し共育の推進や子育ての充実を図り、これをもって地域の活性化に繋げることが必要とされています。

そこで、これら3点の課題解決を中心に、地域の将来を見据えた予算事業計画を決定いたしました。

つきましては、令和5年度千郷地域自治区予算で行う千郷地域自治区予算事業計画について、地方自治法第202条の7第1項第2号に基づき、以下のとおり建議します。

令和5年度千郷地域自治区予算 予算総額 13,028千円

事業計画

1 地域の暮らしを守るための事業 6,788千円

(1) 地域の足の確保検討事業 495千円

令和5年度より新たな路線網で運行開始を計画しているSバス「西部線」の車両に、千郷地域住民よりデザインを公募し、地域の方がデザインした図柄を車両にラッピングします。同時に路線名や車両の名前なども公募により決定し、これを正式な呼び名として採用することで、地域の認知度や愛着の向上及び利用者の増加を図ります。

(2) 林道雁峰線施設管理事業 5,000千円

多様な目的で利用され重要な役割を担っている林道雁峰線の良好な施設管理と地域住民による維持管理の負担軽減、更には地域住民の安全安心を図るため、法面の崩落の危険性があり緊急度の高い箇所側に側溝保護工を施工します。

(3) 可燃ごみ集積所周辺環境改善対策事業 1,293千円

千郷地域自治区内の各行政区等により設置されている可燃ごみ集積所への「ごみ出しモラル」や「ルール厳守」の注意喚起を目的とした看板を製作・設置を実施し、一部のルール等を守らない地域住民によって引き起こされている生活環境の悪化に対する課題解決に向けた一つの取り組みを千郷地域全域で実施します。

2 地域の安全安心を促すための事業 3,867千円

(1) AED普及推進事業及びAED設置管理事業 1,813千円

地域の拠点施設など24時間利用可能な場所へのAED設置により、地域住民の安全安心の向上を図ります。

(2) まちづくりロード形成事業 70千円

地域を跨ぎ、人通りが多い公共空間や主要道路に照明灯を設置し、地域住民の安全安心及び防犯意識の高揚を図ります。

(3) 自主防災組織防災活動援助事業 1,674千円

本地域における市の指定避難所及び一時避難場所の防災資機材等の計画的な設置を進め有事に備え防災活動の充実と地域住民の安全安心を図ります。

(4) 地域景観向上事業 310千円

環境美化活動として地域内の各所、特に小中学校の通学路を中心にプランターを設置し水やりなどの生育管理と同時に子どもたちの登下校時における安全確保の強化を図ります。

3 地域の活性化を図るための事業 2,373千円

(1) 共育推進事業 248千円

新都市の教育理念である「共育」に基づき、地域に共育コーディネーターを配置し地域の得意分野を持っている住民の方を人材として協力を求め、地域の拠点など

で子どものみならず、地域住民を対象とした簡単な講座や教室を開催し交流促進にも繋げることで地域の活性化を目指します。

(2) 地域とこどものふれあい事業 215千円

地域の大人と地域の子どもの顔が見える関係づくり構築を目的として、地域住民が主体となり子どもとのふれあい活動の支援及び推進を図ります。

(3) 地域集会施設整備費補助金上乘せ補助事業 1,910千円

既存の新城市地域集会施設整備費補助金に地域自治区予算枠の範囲内において上乘せ補助を実施することにより、行政区の金銭的な負担軽減を図り、地域住民の様々な地域拠点活動の活発化と交流促進による地域の活性化を目指します。

令和4年10月26日

新城市長 下江洋行 様

千郷地域協議会 会長 今泉雅晴

以上のとおり会長により読み上げられ建議書を市長に手渡した。

4 連絡事項

(1) 第6回地域計画策定分科会の開催について

(2) 第9回千郷地域協議会の開催について

以上の事について事務局より連絡がされた。

5 閉会